

ろうさい病院便り

令和6年11月1日号

広報ちはら台へ掲載しました

第49号

「若々しい目元で、 毎日をもっと輝かせませんか？」

千葉ろうさい病院
形成外科部長 吉良 智恵

形成外科ってどのような治療を行うのか御存知でしょうか。今回は、形成外科の診療について、お話したいと思います。

「目が開けづらい」「視界が狭くなった気がする」そんなお悩みをお持ちではありませんか？それは、もしかしたら眼瞼下垂が原因かもしれません。眼瞼下垂とは、まぶたが重くなり、視界を遮ってしまう病気です。多くの場合は加齢によりまぶたがたるんだり、眼を開く筋肉が緩んだりすることが原因です。眼瞼下垂の手術は、そんなお悩みを解消し、視界をクリアにするだけでなく、生活の質が向上したり肩こりや頭痛の改善も解決できることがあります。また目が大きくなることで表情が明るくなり、若々しい印象にすることも期待できます。

また、「あれ？最近、気になるできものが…」そんな風に思っていないですか？それはもしかしたら、皮膚腫瘍かもしれません。放置すると、大きくなったり、悪性化する可能性もあります。形成外科では、切除痕を目立たなくする確かな技術であなたの大切な肌を守ることができます。

皮膚にできものができた。ほくろが急に大きくなった。皮膚の色が変わった。その様な場合は悪性化の可能性があります。早期発見・早期治療で悪性化のリスクを低減しましょう。ほとんどのほくろの手術は日帰りで行えます。

治療については、一人ひとりの状態に合わせた最適な手術方法を相談することが大切です。

